

序 章

計画策定にあたって

1. 都市計画マスタープランとは
2. 湖西市都市計画マスタープランの概要

序 章

計画策定にあたって

○「計画策定にあたって」について

本章では、都市計画マスタープランの法的位置づけや役割など、都市計画マスタープランに関する基本的な事項について整理し、「湖西市都市計画マスタープラン」の概要として、策定の背景や上位・関連計画との関連、またマスタープランの構成要素について示しています。

1. 都市計画マスタープランとは

1-1 都市計画マスタープランの法的位置づけ

○都市計画法に規定された

「市町村の都市計画に関する基本的な方針」

都市計画マスタープランは、都市計画法第18条の2に規定されている「市町村の都市計画に関する基本的な方針」のことであり、市町村が行う都市計画の最も基本となる計画です。

1-2 都市計画マスタープランの役割

○長期的なまちづくりの考え方の明確化

都市計画マスタープランは、将来目指すべきまちの姿を「将来都市像」として定め、その実現に向けた長期的なまちづくりの考え方を明らかにするものです。

○都市計画の決定・変更等の根拠

都市計画マスタープランは、市町村が行う都市計画（土地利用・都市施設・市街地開発事業・地区計画）の決定や変更等の根拠となるものです。

○まちづくりの担い手のための「まちづくりガイドライン」

都市計画マスタープランは、市民・事業者・行政など、まちづくりの担い手の連携のあり方やまちづくりの進め方、また具体的な実現方策等を示した「まちづくりガイドライン」として共有・活用されるものです。

1-3 都市計画マスタープランにおける「将来」

○概ね20年後の将来を見据えたプラン

都市計画マスタープランは、概ね20年後の将来を見据えて定めます。なお、社会・経済情勢の大きな変化などがあった場合には、必要に応じて見直しを行います。

2. 湖西市都市計画マスタープランの概要

2-1 湖西市都市計画マスタープラン策定の背景

○旧湖西市及び旧新居町の合併による「湖西市」の誕生

平成 22 年 3 月、旧湖西市と旧新居町の合併により、新たな「湖西市」が誕生しました。このことから、新たな都市としてのまちづくりの考え方を明らかにする必要があったため、新たな都市計画マスタープランを策定することとしました。

○旧市町時代の都市計画マスタープラン策定から数年経過

合併以前、旧湖西市では平成 13 年 3 月に、また旧新居町では平成 18 年 3 月に都市計画マスタープランを策定していました。現在、旧湖西市の策定から 13 年が、また旧新居町の策定から 8 年が経過したことから、計画を見直す契機と捉え、新たな都市計画マスタープランを策定することとしました。

○社会・経済情勢の大きな変化

少子高齢・人口減少社会の本格的到来や産業構造の変化、また環境・エネルギー問題の顕在化や自然災害に対する意識の高まり、さらに人・物・情報ネットワークの広域化や地方分権改革の進行など、都市を取り巻く社会・経済情勢は大きく変化してきており、わが国は時代の変革期を迎えています。

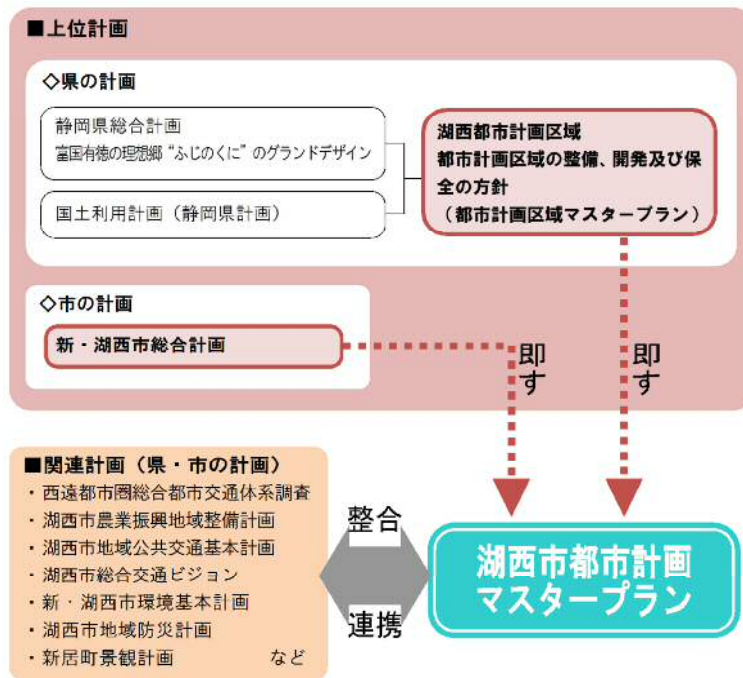
本市においても、このような時代の変化に対応した将来都市像を描き、それに基づくまちづくりを適切に進める必要があることから、新たな都市計画マスタープランを策定することとしました。



2-2 湖西市都市計画マスタープランの位置づけ

○上位計画に即し、関連計画と整合・連携

湖西市都市計画マスタープランは、本市が策定する「総合計画」や、静岡県が策定する「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」といった上位計画に即すとともに、農業、交通、環境、防災、景観など関連する他分野の計画と整合・連携を図って策定しています。



2-3 湖西市都市計画マスタープランの構成

○全体構想、地域別構想、まちづくりの実現に向けて で構成

湖西市都市計画マスタープランは、市全体としての都市づくりの考え方を示した「全体構想」、地域ごとのまちづくりの考え方を示した「地域別構想」に加え、まちづくりの実現に向けた道すじである「まちづくりの実現に向けて」で構成しています。

